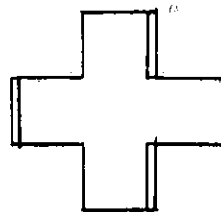


分 解 度 試 験 報 告 書

1. 試 料 名 1, 5, 9-シクロドデカトリエン (試料 No. K-468)
 分 子 式 $C_{12}H_{18}$
 構 造 式



同 定 赤外分光光度計 (付図-4 参照)

性 状

外 観 : 無色液体 比 重 : 0.881 (実測値)

純度 (%) : 約 100

溶解性 : 対水 ≈ 3 ppm (12 日間攪拌後の測定値)

(XXXXXXXXXX 試薬使用)

2. 試 験 期 間 昭和 54 年 11 月 8 日 ~ 昭和 55 年 3 月 11 日

3. 試 験 方 法 及 び 条 件

環 保 業 第 5 号
 薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
 49 基 局 第 392 号 }

3. 1 試 験 条 件

- (a) 生分解試験条件

- (1) 微 生 物 源 : 標準活性汚泥 (30 ppm)
 (2) 供試物質濃度 : 100 ppm
 (3) 試 験 期 間 : (14) 日間

- (b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 揮発性物質用改良型

- (c) 試料の採取

供試物質は液体のためマイクロシリンジ 34.0 μ l 分取し
 各培養ビンに添加した

(計算式) $34.0 \mu\text{l} \times 0.881 = 30.0 \text{ mg}$
 (比重)

- (d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕込時	供試物質は水面に浮んだ。	—
終了時	供試物質は水面に浮んでいた。 汚泥の増殖は見られなかった。	—

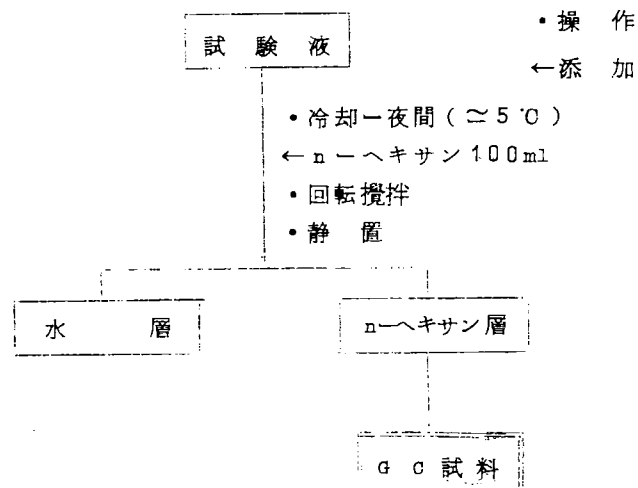
3.2 直接定量分析

(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式	ヒューレットパッカード
検 出 器	FID
カ ラ ム	2 mmφ × 1.2 m ガラス
固 定 相	
液 相	2% OV-101
担 体	クロモソルブ W
カラム温度	125℃
キャリアガス	N ₂

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
G C による結果	0	2	1

7日目のアニリンの分解度 90%

以 上

図-1

No.

Date 2/25 - 3/10 1980

Test Temp. 25 °C

Model Coulometer No. 205

Range 250 ppm × 1

Chart Speed 2 mm/h

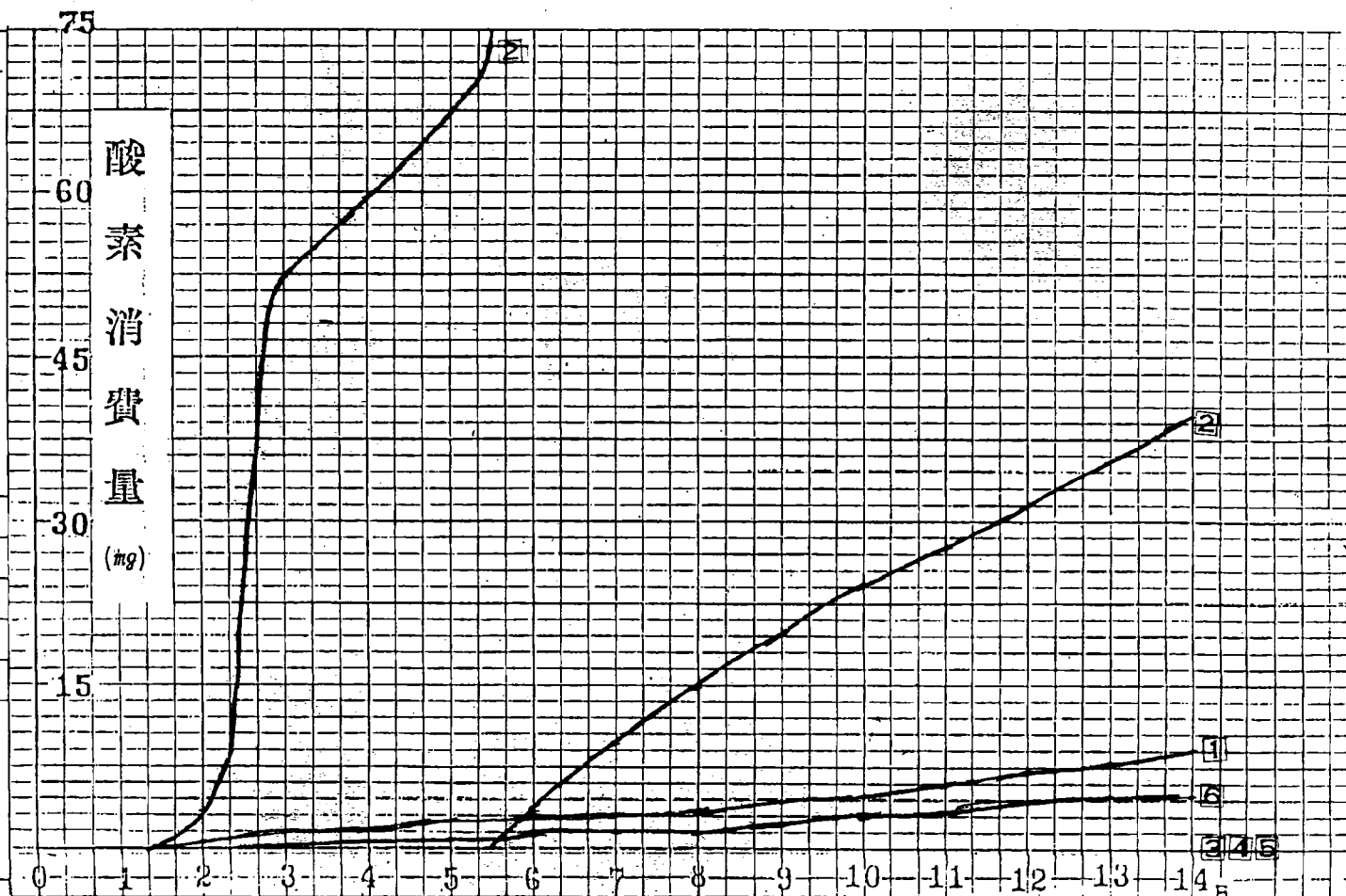
Sample	Sludge (ppm)
1 基礎呼吸 (— ppm)	30
2 アニリン (100 ppm)	30
3 汚泥+試料 (100 ppm)	30
4 汚泥+試料 (100 ppm)	30
5 水+試料 (100 ppm)	—
6 汚泥+試料 (100 ppm)	30

Note: k-468

揮発性物質用クローメータ

Operator XXXXXXXXXX

酸素消費量 (mg)



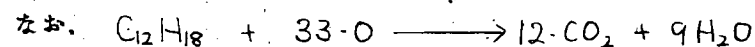
(財) 化学品検査協会 化学品安全センター

$$\text{分解度} = \frac{\text{BOD} - \text{B}}{\text{TOD}} \times 100 = \frac{-7.8}{97.5} \times 100 = -8.0 \Rightarrow 0\%$$

ただし

$$\text{BOD} - \text{B} = \frac{[3] + [4] + [6]}{3} - [1] = \frac{0 \text{ mg} + 0 \text{ mg} + 4.8 \text{ mg}}{3} - 9.4 \text{ mg} = -7.8 \text{ mg}$$

$$\text{TOD} = 3.25 \times 30.0 \text{ mg} = 97.5$$



$$\frac{33.0}{\text{C}_{12}\text{H}_{18}} = \frac{528.0}{162.3} = 3.25$$

7日目のアニリンの分解度 90 %